

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市城郷小机地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

現在当ケアプラザを拠点として展開されている地域の活動（高齢者見守り、子育て支援、障がい者支援など）を継続的に支援し、これらを運営している方々と一緒に地域の福祉保健計画を推し進めることが第一と考え以下の通り取り組んでまいりました。

##### 1. 新しい「ひっとプラン港北」「たすけあうまち城郷」の周知・推進。

新計画の第一年度に当たる今年はこの計画を多くの人に知ってもらうための広報活動にとりくみました。ボランティア団体等ケアプラザを訪れる方々への資料配布や広報紙への掲載等を行いました。

##### 2. 各種ボランティア活動団体の次世代育成への支援。

昨年に引き続き、ボランティアに関わる人材発掘を進め、こうした団体を支援します。各種事業の中から担い手を発掘し活動につなげるアプローチを進めます。

##### 3. 広域災害における役割認識と具体的な備え。

特別避難場所として、備蓄品の適正な管理、防火・防災訓練、対応マニュアルの改善などを通じて災害に備えています。

#### (2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

初期相談においては、主に地域交流職員が簡易なヒアリングを実施し、速やかに必要な部署・専門職へつなぎました。

相談内容に応じてボランティア募集・育成、啓発事業、あるいは当事者が参加しやすい余暇支援事業をご案内しました。情報提供の際は、個別対応が必要な視覚障害者等には、当ケアプラザの電話番号などを点字で打刻する、ルビ打ち・大き目の文字書面の別途対応といった当事者対応用フライヤーの作成にも配慮をし、障害の有無なく、広く全ての住民が利用しやすい情報提供につとめました。

#### (3) 各事業の連携

生活支援が取り組んでいる「地域の多世代交流」や地域交流の「子どもの居場所づくり」など、子どもから高齢者までが安心して多世代交流できる居場所作りの検討を進め、実施しました。今後も同時進行で既存活動に属していない新たな担い手の発掘や育成を地域交流と生活支援の連携で進めます。

また地域ケア会議では包括、生活支援、地域交流の各職員がそれぞれの立場から地域アセスメントや地域リソースなど様々な情報を共有することで多角的な分析に参加された方々で行うことができました。

その他包括主催の事業（講座など）と生活支援主催の事業（コーヒーサロン）を同日同時帯に実施する等、組合せ開催でお互いの参加者増にメリットを生みだすことができました。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

現在以下の体制で運営いたしました。

所長 1名

地域包括 4名（各職種 1名及びプランナー 1名）

地域交流コーディネーター 1名、サブコーディネーター 7名

生活支援コーディネーター 1名

居宅介護支援 6名 通所介護（一般・認知症対応）約 40名（ドライバー含む）

上記の内地域包括、居宅介護支援、通所介護には介護保険制度等に基づき年間での計画的な研修が求められています。これに沿ってコンプライアンス、事故防止、苦情解決、個人情報保護、感染症対策、高齢者虐待防止等の項目を立て、地域交流を含めた 4 部署で年間計画を立てて研修を実施しています。

これらのほかに、上記の階層別研修、専門・職種別研修（介護技術や相談技術の向上等）を実施することで、さまざまな角度からの人材育成が可能になっています。こうした研修は法人内で企画されるものだけに限らず、横浜市社会福祉協議会、かながわ福祉サービス振興会等が主催する研修や講習会、研究会等も積極的に活用し、法人内の研修と組み合わせ受講させるようにしています。

また防災、感染症対応等については地域ケアプラザ全体、及び同一建物内にある地区センターと合同で訓練を実施し、当ケアプラザ／地区センターを訪れる方々の安全を守ることでできる人材育成を心がけます。

地域ケアプラザが指定管理制度に基づく横浜市の地域福祉拠点であるという点に鑑み、公の施設として、住民、団体、事業者などに対して公正中立な立場で業務にあたるよう心掛けました。特に包括の総合相談・支援事業において相談者の意思を尊重し、事業所選定等においては常に複数の選択肢の中から選ぶことができました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

当地区の地福計画「たすけあうまち城郷」の推進委員会、地区の支え合い連絡会など、直接的に地域福祉保健ネットワークに貢献する組織を維持・支援しました。その他ボランティア団体（地区社協、ほっとカフェ、ケアプラザで活動する様々な団体、地区の老人会、ボーイスカウトなど）には福祉フェスタにご参加いただくなど連携を深めました。また小机小、城郷小、城郷中の生徒さんにはボランティア活動にもご参加いただき、それぞれの学校とはより良い関係性を築くことができました。

#### (6) 区行政との協働

定例カンファ等の機会を活用しての情報交換に加え、ひっとプランや支えあい連絡会のスタッフ会議等での意見交換を通じて連携を深めました。特にひっとプランから派生した事業「城郷探検」では、サポートスタッフとして共に準備手配や当日の進行等を行いました。また地域ケア会議（包括レベル）においては会議を円滑に進めるためのファシリテーターを分担して進めることができました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

・子育て支援事業の充実に努めます。昨年度、プレ実施により好評をいただいた子育てを卒業されたママたちで結成された子育て支援ボランティアグループによる「そらとぶあおむしお話し会」が継続的な活動につながりました。さらに健康福祉局からの情報提供によりつながった子育て NPO の協力を得て父親同志の交流支援にも着手しました。

・3 年目となる好評のウクレレ講座から卒業生の自主化事業支援、さらにこれまでの参加者を活用した施設演奏ボランティアグループの育成と夜間貸館の増加を推進します。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・城郷地区ボランティア連絡会に参加される当該地区内の活動支援の一環として、当ケアプラザ福祉フェスタに多くの団体にご参加いただきました。また、城郷中学校ちよいボラサポーターズ CLUB としての中学生ボランティアの受け入れについても、フェスタ(吹奏楽部ボランティア)をはじめ、CP 内デイサービスや障害者コンサート等での視覚障害者誘導、赤い羽根募金のアピールなど、活動前の指導も含め支援しました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

上記(ちよいボラサポーターズ)の他、ウクレレ講座やコーヒー講座、その他各種ボランティア育成事業への参加者を中心に、ケアプラザ内で展開しているその他の自主事業や福祉保健活動グループのご案内をしました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

ケアプラザ内、各部署宛てに配信される横浜市健康福祉局からの情報は、全て担当部署内のみに留めず、所長・包括・生活支援・地域活動にて共有をはかりました。さらに月1回開催のリーダー会議などで互いの予定を共有し、周知に漏れのないよう留意しました。

また、地域向けにも適切と判断される情報は、フェイスブックページ等を活用した当ケアプラザからの地域向けの情報提供をすすめました。横浜市の周辺施設(ラポールや、総合保健医療センター等)情報や、市内の子育てから障がい支援情報に至るまで、必要な方へ届くように、引き続きケアプラザ内外情報の随時配信に努めます。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・包括、地域交流と協働して地域資源の開発やボランティアグループ化につながる事業、地域の現状・課題を分析し、資源開発に努めました。
- ・コーヒーボランティアの定期的なボランティア活動として、『コーヒーサロン わいわい城郷』の開催、学習会を行い、ボランティアのスキルアップに努め、自主グループ活動へ向けた支援を行い、H30年度より、自主活動に移行されます。
- ・地域活動交流と共催し『調理ボランティア講座』を実施しました。  
H30年度より、定期的な食事会を開催予定、新たな担い手の発掘・育成に努めました。
- ・包括と協働し、スリーAリーダーの養成・支援に努めました。H30年度より、定期的な活動に展開する予定。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域アセスメントは、半期毎、地区支援担当間で（CP、区、区社協等）振り返り、現状と課題の共有、関係機関と連携した地域支援に努めました。
- ・情報収集・データ分析を行い、適宜、協議体・地域ケア会議などの資料として活用し、現状・課題の共有、情報発信に努めました。また、分析結果を参考に事業展開や地域アプローチに努めました。
- ・団体の活動や会議等への参加、ヒアリング・アンケートなどを実施し、地域活動の状況の変化を把握できるよう努めました。生活支援ボランティアグループ『城郷ふれあいの会』の定例会に参加し、活動の現状等を把握し、今年度、サービスBの提供事業所としての申請に向けた支援を行いました。
- ・活動団体へアンケートを行い、活動紹介カードを作成、館内・ホッとカフェへ掲示し、情報発信を行いました。

#### (3) 連携・協議の場

- ・包括、地域交流と連動し、今年度は、2か所で協議体を開催し、地域の居場所作りに向けた検討を進めました。（城郷地区居場所作り検討会の開催、とりやまの郷のモデル事業を開催。岸根町年とワーク会議での検討会、きしねの郷開催）
- ・地域ケア会議、地域の様々な会合等を通じ、地域課題解決・生活支援体制整備事業推進につながる検討が図れるよう努めました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・区内のコーディネーター（第一層含む）との連携を密にし、共通課題及びより広域な課題の発見と解決を図りました。
- ・生活圏域が共通する他区（緑区、神奈川区）・他エリアと情報共有・連携に努めました。（鴨居CPとのコーヒーボランティア活動状況の情報共有）
- ・連絡会等の機会を使って課題共有及び意見交換を行い、必要に応じて共催事業等各エリアを超えて取り組みました。今年度は、篠原CPと共催し、生活支援サービス担い手養成研修『あなたのチカラを地域で活かそう』を開催しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・支えあい連絡会（城郷地区見守りネットワーク構築事業）の定例会に毎回出席し、地区ごとの見守り事業をサポートすると共に連絡会の役員会での意見交換を通じて連絡会の運営を支援しました。
- ・民生委員の定例会、ふれあいの会（有償家事ボランティア）の会議、各老人クラブの定例会などに参加し、それぞれの活動支援と情報の共有、伝達を行いました。
- ・生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとの協働で、鳥山町、岸根町の地域ケア会議を開催しネットワークの構築に努めました。

#### ② 実態把握

- ・「一人暮らし高齢者地域での見守り推進事業」を地域の民生委員や地域の見守りネットワークと連携して安否確認や、事業へのお誘い、新たに見守りが必要なかたの支援などを継続しました。
- ・老人クラブやそれぞれの地区で実施している事業や自主グループ活動（岸根ウォーキングや大堀体操など）を訪問し、ニーズ把握を行っていきます。
- ・地域の有償ボランティアの「城郷ふれあいの会」や民生委員・市営住宅の相談員など地域の関係団体と情報共有を行うことで継続して連携をしていきます。必要なケースには同行訪問をするなど地域での見守りや実態把握を進めていきます。

#### ③ 総合相談支援

- ・ケアプラザの窓口で相談に来られた方や電話でのお問い合わせには、安心して相談ができる対応、的確な情報提供、スムーズなサービス利用支援を職員全員がこころがけています。
- ・地域の医療機関の相談員との連携により退院時にスムーズに在宅への生活に移行できるように関係機関と情報共有ができるようにしました。
- ・必要な時に必要なサービスがスムーズにつながられるよう、日頃から情報収集を行い、相談者のニーズに適した支援をこころがけました。
- ・相談内容により解決が困難なものは、区保健センターの専門職や民生委員などとの連携により支援をしています。
- ・包括支援センターを周知していただけるよう、老人クラブや体操教室のOB会などに出向き顔のみえる関係づくりを継続していきます。

### (2) 権利擁護業務

#### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・振り込め詐欺や消費者被害予防のため、ケアプラザを利用されている高齢者グループ、地域の老人クラブや体操教室に、定期的に参加し、最新の被害の手口や地域で実際に起こった事例の話を行い対応策も伝えるなど被害の予防に努めます。
- ・高齢者対象に講演会「詐欺に遭わないために」を実施し、地域の方々への情報提供と注意喚起を実施しました。また、行政書士相談会を実施し、個別の相談に応じられる事業を継続しました。

## ② 高齢者虐待への対応

- ・地域のサービス事業所やボランティア団体等に向けて、虐待防止パンフレット等使い、高齢者虐待防止についての啓発活動に努めました。
- ・介護支援専門員向けに虐待防止講座を開催し、いち早く発見する、未然に防ぐ方法を学びました。
- ・実際に虐待が疑われる事例には区保健センター他と連携して対応できる態勢を整えて備えました。

## ③ 認知症

- ・城郷地区のキャラバンメイトと協力してサポーター養成講座を開催しました。
- ・キャラバンメイトの定例会議で年間計画を検討し、地域の小学校などの教育機関、企業（タクシー会社）等で理解講座を行いました。
- ・地域向けに認知症についての理解講座を実施し、認知症理解の普及啓発を行ないました。
- ・認知症の方々の居場所づくりについて検討しました。次年度にむけて継続検討中です。
- ・地域の方や介護支援専門員等からの認知症の方の相談や対応に関する相談には随時応じました。また、徘徊する方の情報があった場合、かえるネットの情報を活用して区と情報共有するなどの態勢を整えています。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアマネジャーと民生委員との情報交換会を実施し、互いの状況や課題等を共有して連携のきっかけづくりをすすめました。
- ・ふれあいの会やひまわりの会など、地域のボランティアグループの会合に出席して情報共有を図ってきました。
- ・ボランティア活動の担い手育成のため、コーヒー講座等の参加者をボランティア活動につなげる活動をしました。
- ・区福祉保健センターや区社協、民生委員の方々との連携で、支援の必要な方の早期発見と課題解決に努めました。

### ② 医療・介護の連携推進支援

- ・エリア内の医療機関（医院、訪問看護ステーション等）にはケアプラザの事業案内や広報誌を持って定期訪問しています。医療機関から相談があった時は入院から退院後のリハビリ、在宅療養への円滑な移行ができるように各関係者と連携を行い支援します。
- ・地域ケア会議等を医療従事者と介護従事者が関わりを持つきっかけづくりとしても活用しました。

### ③ ケアマネジャー支援

- ・支援困難ケースの相談にはケアマネジャー個別支援の他に、必要に応じて、ケースカンファレンス・地域ケア会議を開催する等、解決に向けた支援をしています。
- ・ケアマネジャーは多様なサービスをコーディネートできるよう、地域における健康づくり体操や老人クラブ活動、ボランティア活動など、介護保険サービス以外の地域における様々な社会資源を活用できるように支援します。
- ・ケアマネジャー向け講座を実施、スキルアップの機会を提供しました。
- ・圏域内にある事業者を対象にした自主勉強会を実施しました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議は個別ケースを2回、包括レベルを2回、それぞれ開催しました。開催に当たっては包括だけでなく、地域交流、生活支援の両コーディネーターと情報を共有し、課題の把握、分析を行いました。
- ・会議開催にあたっては、両コーディネーター、所長、区役所の地区担当者・区社協の担当者と役割を分担し、事前準備と打ち合わせ、当日の進行、記録作成をおこないました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・公正中立を確保するためにハートページ等の情報を活用し、ご本人に適切な支援ができるようこころがけました。またプラン作成においては、「サービスB」を含めた地域のインフォーマル資源も活用できるようにしています。

### (6) 一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

- ・地域のサロン等で支援者として活躍できる人の育成をめざし、スリーA支援者養成講座とロコモ予防体操サポーター養成講座を開催しました。また東町・愛宕町民が集える場所づくりを目指して体操等の事業を開催し、最終回には、スリーA支援者養成講座の受講生が中心となったスリーA講座を実施しました。スリーA支援者による学習会として今後も活動を継続していきます。
- ・地域の既存のサロンや体操教室への支援として口腔ケア教室や言語聴覚士の講座も開催しました。

## 5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

施設設備、電気設備、消防設備等の点検は、法令及び管理標準に則って実施し、記録を残しました。記録の中で報告された設備・機器の不具合等については必要に応じて区と協議し、補修・交換等に対応します。

いわゆる耐久消費財と呼ばれる備品・機器の修繕、交換という課題には適宜必要度を勘案して取組みました。特に経年劣化で使用が危ぶまれる機器については貸室備品を中心に複数年度かけて計画的に交換を進めています。また通所介護のサービス提供や地域交流の貸室には直接に影響するため、日々状態を確認しています。

小破の修繕については迅速・安価で、且つ質の低下を招かないように配慮しました。自分たちで修繕可能かつその後の安全も図れる小破の修繕は、安易に外部業者による修繕に依存することなく部品・代替品の購入等によって進めました。

### (2) 効率的な運営への取組について

#### ① 広報活動

##### (1) 広報紙による施設のお知らせ

広報紙で会館内の様々な活動についてお知らせすることで、同様の活動を行っていただける方々へ「このような活動でご利用いただけます」というメッセージを継続発信しました。

広報紙は各町内会・自治会を通じて戸別配付され、毎号地元の方の目に触れるようになっていきます。また小・中学校、近隣の他ケアプラザへも配布しています。さらに近隣の商店にご協力をお願いし、店頭での掲示や配付等でご協力を頂いています。

##### (2) ホームページによるお知らせ

秀峰会ホームページには城郷小机地域ケアプラザの情報も掲載しており、アクセス（電話／Fax 番号、住所、地図等）をお知らせしています。上記広報紙もホームページから最新版がダウンロードできるようになっています。また、昨年度立ち上げたフェイスブックページの運用で即時性のある活動報告や広報に活用しました。

#### ② 利用団体のスケジュール調整

利用申込みは所定のルールに基づいてお受けしていますが、特に長年ご利用いただいている地元のボランティア団体や当ケアプラザの事業から自主化した団体については、その活動が互いにスポイルされることのないよう、早めの利用調整等を実施してきました。

ご利用にあたっては「利用団体説明会」の中で利用の申込み手続きなどについて十分にご説明申し上げ、ご協力をお願いしています。

#### ③ その他の利用促進

##### (1) 地域福祉保健計画との連携

城郷小机地区の福祉保健計画「たすけあうまち城郷」を担う団体の支援として、支え合い連絡会、よってこ会など地域の福祉保健活動で重要な役割を担っている多くの団体の方々に活動拠点、活動場所としてご利用いただいています。特に「城郷探検」は地区地福計画推進委員会の開催ということで定期的な利用となりました。

##### (2) 魅力ある自主事業の企画実施

今年度はコーヒーボランティアから発展したカフェがスタートしました。また、子

どもの居場所事業や新しい調理ボランティア育成のための事業等、いくつかの新規事業を立ち上げて将来これらが利用団体として組織化されていくための種まきに取り組みました。

### (3) 夜間、土日の利用促進

週末や夜間等、比較的稼働率の低い時間帯については、ボランティア活動を目的とした団体に「比較的予約の取りやすい時間帯」として情報提供し、ミーティングなどでご活用いただけるようにしています。

また、人気のウクレレ講座は平日夜間帯及び日曜日午後の時間帯で開催し、利用促進につなげています。

### (3) 苦情受付体制について

居宅、通所、包括、地域交流それぞれに苦情受付担当者を置き、ご要望をうかがう体制を維持しました。また、居宅、通所、包括においては利用開始時に口頭・文書で説明し、地域交流は館内掲示等でそれぞれの受付体制をお知らせしました。

上記各部署においては利用される方々への積極的な声掛け等を行い、状況を適切に把握して苦情につながる状態を未然に防ぐよう努めました。

また、苦情やご要望については、電話、窓口にかかわらず部署にこだわることなくご利用者のお話に耳を傾け、その方のニーズの理解と課題解決に努めました。お申し出の内容は所内で共有し再発防止に努めました。

苦情解決にあたっては当ケアプラザだけでなく、必要に応じて区、市へ遅滞なく報告し、協議の上対応することもできるよう備えます。また、第三者委員を設置し、法人内でもより適切に対応できるよう、体制を整えて対応しています。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

大規模な事故、災害の発生に備え、「防災、災害対策マニュアル」を整備して職員への周知を図り、適切に対応できるようにしています。

このマニュアルは年度内に一度読み合わせを実施し、内容の有効性を高めると共に職員に周知し、適切に対応できるようにしました。

施錠管理を確実にを行い、備品等の盗難防止に努めています。備品管理簿を常に最新の状態に保ち、適切に管理しています。

また、地域の方々と連携し、地域防犯防災の取組に協力しています。防災訓練を計3回実施し、特に避難訓練等は地区センターと合同で実施いたしました。

### (5) 事故防止への取組について

月1回定例開催のリーダー会議（各部署の管理者・リーダーの会議）において、法人が作成する「前月の事故発生状況と分析」と横浜市の月次事故報告の内容を共有し、事故に対する危機意識を高める活動を継続しました。また、定期的を実施する研修に職員が参加することで、事故を未然に防ごう、防ぐための策を立てようという意識の醸成に努めました。

朝礼・終礼等の中で、事故防止の評語を唱和し、事故を起こさない努力を続ける気持ちを常に持ち続けられるようにしました。

事故、ヒヤリハットの事例情報については適宜朝礼や会議の席上で共有し、注意喚起を行うと共に、発生要因などの分析を行い防止策の検討につなげています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

ご利用者をはじめ、委員の方々や地域活動に従事されているの方々、職員等、当ケアプラザでお預かりしている個人情報の範囲と種類は多岐にわたります。各種法令と厚労省の示したガイドライン、秀峰会の「個人情報保護の方針（プライバシーポリシー）」「個人情報保護規程」等に基づき、個人情報の適切な管理に努めました。個人情報についてはすべて施錠できる収納什器の中に個人別に管理しており、其々管理担当者が明確になっています。また、個人情報の保護に関する研修を定期的を実施し、職員のコンプライアンスに対する意識の向上、維持に努めています。

(7) 情報公開への取組について

ケアプラザの運営情報については年2回実施しているケアプラザ運営協議会を通じて地域の方々に公開し、ご意見を頂戴しながら適切な運営を実施することができました。

また、広報紙、ホームページ、SNS等を使っての情報公開に努めました。

法人全体では決算書をホームページに掲載し、法定の情報公開に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

包括を中心に、高齢者や障がい者の人権を守るための自主事業（個別相談会、詐欺被害防止講習会、虐待防止等）を実施いたしました。

地域交流を中心に、障がい者の人権啓発のための自主事業（障がいを知る講座、作業所による喫茶室等）を実施いたしました。

また、地域交流を中心に小机小、城郷小の人権学習に協力し、課外授業のコーディネートを行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

特に節電に取組み、冷房・暖房温度を管理標準に基づいて設定・調整しました。また、クールスポット活動にも参加しました。

不要な個所の明かりはこまめに消し、「つけっぱなし」を防ぐなどの取組みを行い、会館をご利用の方々にも節電・エコを呼びかけました。

廃棄物の処理については担当者を置き、横浜市の施策である「G30」「ヨコハマ3R夢」に沿って適切に処理しています。また、職員全員がゴミの分別を理解できるよう、ゴミ箱のそばや職員の休憩スペースなどに分別方法を掲示し、全員が正しい処理に取り組めるようにしました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ・看護師：管理者兼務 12月まで 1名
- ・保健師：12月より 1名
- ・社会福祉士： 1名
- ・主任ケアマネジャー（12月より管理者） 1名
- ・介護予防プランナー（12月まで） 1名

#### 《目標（取組、達成状況）》

- ・高齢者ができる限り要介護状態にならないように利用者の自立を支援し、介護保険のサービスとインフォーマルサービスを併用しながら、生活の質の向上をはかりました。
- ・適切なモニタリングによるサービス調整を行い、自立に向けた計画作成を行いました。
- ・それぞれの職種の専門性を生かしながら、本人の状況に合った支援と環境の整備を行いました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費弁償なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域の集まりでチラシ等の媒体を通じて、必要な情報提供を実施しました。
- ・地域の民生委員や区役所・地域のインフォーマルサービスなどとの密な連携により、早めの手立てを行う事で、要介護状態への移行を事前に防ぐように支援を行いました。
- ・要支援の方でも地域の体操教室やサロン・ミニデイなどの地域資源を積極的に活用し、本人の状況に合ったサービスの提案を行う事で、インフォーマルサービスも含めた幅広いサービス提供を行いました。
- ・要支援のサービス未利用の方に対しても見守りを行なうことにより、必要時にすぐにサービスにつなげることが出来るように、必要な支援を行いました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
131	133	132	129	133	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
127	124	129	127	128	126

## ●居宅介護支援事業

### 《職員体制》

- ・介護支援専門員 常勤6名 平成30年3月末時点  
(平成29年4月1日～4月30日 7名)  
(平成29年5月1日～6月30日 8名)  
(平成29年7月1日～平成30年2月28日 7名)  
(平成30年3月1日～3月31日 6名)  
うち1名は管理者兼務

### 《目標に対する成果等》

- ・ケアプラザの包括支援センター等と連携して、困難事例にも積極的に対応しました。
- ・医療機関との連携によって、入院しておられる方々のスムーズな退院とその後の在宅生活を支援しました。
- ・包括支援センターを支援し、地域の高齢者に適切な介護保険制度の理解をしていただけるよう情報提供や相談等を行ないました。
- ・ケアプラザのイベントにも積極的に参加し、地域の福祉保健活動増進に貢献しました。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご利用者からの連絡・相談に24時間電話対応できる体制を継続しました。
- ・地域や法人の研修への参加や自己研鑽によって、仕事の質の向上に努めました。
- ・法人の介護サービスネットワークを活かし、必要な方に必要なサービスが迅速に適正に提供されるように致しました。

### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
197	198	213	198	200	202
10月	11月	12月	1月	2月	3月
211	204	203	197	188	199

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス
- 入浴サービス
- 食事サービス
- 機能訓練サービス
- レクリエーションサービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

■通所介護

● 1割負担料金

（要介護1）	692円
（要介護2）	817円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1,077円
（要介護5）	1,206円

- 入浴介助加算 54円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 個別機能訓練加算Ⅰ 50円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 5.9%加算
- 食費負担 760円

● 2割負担料金

（要介護1）	1,383円
（要介護2）	1,634円
（要介護3）	1,893円
（要介護4）	2,153円
（要介護5）	2,412円

- 入浴介助加算 108円
- 中重度者ケア体制加算 97円
- 個別機能訓練加算 99円
- サービス提供体制強化加算 39円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 5.9%加算
- 食費負担 760円

■認知症対応型通所介護

● 1割負担料金

（要介護1）	1,072円
（要介護2）	1,188円
（要介護3）	1,305円
（要介護4）	1,422円
（要介護5）	1,539円

- 入浴介助加算 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 10.4%加算
- 食費負担 760円

● 2割負担料金

（要介護1）	2,144円
（要介護2）	2,376円
（要介護3）	2,609円
（要介護4）	2,844円
（要介護5）	3,077円

- 入浴介助加算 109円
- サービス提供体制強化加算 39円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 10.4%加算
- 食費負担 760円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》9:35 ~ 16:35

《職員体制》

■通所介護

- ・管理者 1名（常勤兼務）
- ・生活相談員 2名（常勤兼務2名）
- ・介護職員 13名（常勤兼務3名、非常勤兼務⑩名）
- ・看護職員 3名（常勤兼務2名、非常勤兼務1名）
- ・機能訓練指導員 3名（常勤兼務2名、非常勤兼務1名）

■認知症対応型通所介護

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤兼務）
- ・生活相談員 2名（常勤兼務2名）
- ・介護職員 7名（常勤兼務6名、非常勤兼務1名）
- ・機能訓練指導員 1名（非常勤兼務1名）\*看護職員

《目標に対する成果等》

■通所介護

・ご利用者個別のニーズ、ご家族のニーズを理解し、これに合ったサービスが適用できるように取り組み、生活支援と機能訓練によって、ご利用者、ご家族の生活の質の維持・向上が図れる活動を提供いたしました。

■認知症対応型通所介護

少人数制である事を活かし、各ご利用者にとって適切な対応を行いました。  
接遇・マナーを徹底し、おもてなしの心で接しました。  
ご利用者を第一に考え、ご家族との連携をとりながら進めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

■通所介護

・職員が提供するプログラムに加え、地域のボランティアグループの方々によるレクリエーション等、多彩な活動でお楽しみいただいています。

■認知症対応型通所介護

無理なくその方に合った一日を過ごしていただけるように努めました。そのために参加しやすいプログラムと個別のプログラムをご用意いたしました。  
ご利用者やご家族のニーズに臨機応変に対応できるよう、全職員で連携を図ってまいりました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

■通所介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月
842	896	839	859	843	856
10月	11月	12月	1月	2月	3月
887	871	830	749	667	747

■認知症対応型通所介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月
242	259	232	260	263	241
10月	11月	12月	1月	2月	3月
245	233	259	230	208	258

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス
- 入浴サービス
- 食事サービス
- 機能訓練サービス
- レクリエーションサービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担料金

（要支援1）	1,766円
（要支援2）	3,621円

● 2割負担料金

（要支援1）	3,531円
（要支援2）	7,241円

● サービス提供体制強化加算

（要支援1）	78円	155円
（要支援2）	155円	309円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 5.9%加算

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 5.9%加算

● 食費負担

760円

● 食費負担

760円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35~16:35

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤兼務）
- ・生活相談員 2名（常勤兼務2名）
- ・介護職員 13名（常勤兼務3名、非常勤兼務⑩名）
- ・看護職員 3名（常勤兼務2名、非常勤兼務1名）
- ・機能訓練指導員 3名（常勤兼務2名、非常勤兼務1名）

《目標に対する成果等》

通所介護事業同様、個別のニーズに合ったサービスが適用できるように取り組み、入浴など加算に含まれないサービスも展開し介護予防の一助として提供いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

職員が提供するプログラムに加え、地域のボランティアグループの方々によるレクリエーション等、多彩な活動でお楽しみいただいています

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	19	20	18	18	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	21	21	21	18	19

平成29年度「横浜市城郷小机地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,171,780	443,028	14,728,752	14,728,752	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	108,200	108,200	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	12,750	12,750	
印刷代	0		0	460	460	
自動販売機手数料	0		0	9,600	9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	2,690	2,690	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,647,000		2,647,000	2,647,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>21,406,280</b>	<b>443,028</b>	<b>20,963,252</b>	<b>21,084,202</b>	<b>120,950</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>12,341,000</b>	<b>0</b>	<b>12,341,000</b>	<b>13,314,641</b>	<b>973,641</b>	
本俸	8,620,000		8,620,000	9,147,134	527,134	
社会保険料	980,000		980,000	1,019,464	39,464	
手当計	2,622,000		2,622,000	3,029,602	407,602	
健康診断費	5,000		5,000	4,357	643	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	114,000		114,000	114,084	84	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>875,000</b>	<b>0</b>	<b>875,000</b>	<b>1,238,113</b>	<b>363,113</b>	
旅費	70,000		70,000	66,379	3,621	
消耗品費	200,000		200,000	219,155	19,155	
会議賄い費	0		0	3,750	3,750	
印刷製本費	50,000		50,000	74,003	24,003	
通信費	200,000		200,000	235,488	35,488	
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	341,267	341,267	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	12,000		12,000	15,874	3,874	
職員等研修費	8,000		8,000	14,881	6,881	
振込手数料	1,000		1,000	20	980	
リース料	183,652		183,652	178,291	5,361	
手数料	0		0	446	446	
地域協力費	20,000		20,000	8,700	11,300	
その他	130,348		130,348	70,259	60,089	
<b>事業費</b>	<b>513,000</b>	<b>0</b>	<b>513,000</b>	<b>435,869</b>	<b>77,131</b>	
運営協議会経費	42,000		42,000	11,207	30,793	予算：指定額
指定管理料充当 事業	471,000		471,000	424,662	46,338	
<b>管理費</b>	<b>6,690,000</b>	<b>0</b>	<b>6,690,000</b>	<b>2,892,228</b>	<b>3,797,772</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	3,300,000	0	3,300,000	1,025,157	2,274,843	
電気料金	700,000		700,000	185,336	514,664	
ガス料金	900,000		900,000	233,430	666,570	
水道料金	1,700,000		1,700,000	606,391	1,093,609	
清掃費	1,300,000		1,300,000	1,250,571	49,429	
修繕費	474,000	0	474,000	30,972	443,028	予算：指定額
機械警備費	100,000		100,000	86,003	13,997	
設備保全費	1,516,000	0	1,516,000	383,193	1,132,807	
空調衛生設備保守	70,000		70,000	64,143	5,857	
消防設備保守	40,000		40,000	31,994	8,006	
電気設備保守	30,000		30,000	29,624	376	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,928	72	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	1,366,000		1,366,000	247,504	1,118,496	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	116,332	116,332	
<b>公租公課</b>	<b>987,280</b>	<b>0</b>	<b>987,280</b>	<b>1,065,171</b>	<b>77,891</b>	
事業所税			0		0	
消費税	987,280		987,280	1,065,171	77,891	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>21,406,280</b>	<b>0</b>	<b>21,406,280</b>	<b>18,946,022</b>	<b>2,460,258</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>443,028</b>	<b>443,028</b>	<b>2,138,180</b>	<b>2,581,208</b>	

自主事業費収入	471,000		471,000	0	471,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	471,000		471,000	424,662	46,338	
自主事業収支	0	0	0	424,662	424,662	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市城郷小机地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,428,000	1,432,561	21,995,439	21,995,439	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	7,800	7,800	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	62,700	62,700	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	75,600	75,600	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,600	9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	66,000	66,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	177,000		177,000	177,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>29,545,000</b>	<b>1,432,561</b>	<b>28,112,439</b>	<b>28,258,539</b>	<b>146,100</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>25,713,000</b>	<b>0</b>	<b>25,713,000</b>	<b>22,920,408</b>	<b>2,792,592</b>	
本俸	15,530,000		15,530,000	13,048,836	2,481,164	
社会保険料	3,950,000		3,950,000	3,060,245	889,755	
手当計	5,736,000		5,736,000	6,400,942	664,942	
健康診断費	12,000		12,000	14,615	2,615	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	485,000		485,000	395,770	89,230	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>840,000</b>	<b>0</b>	<b>840,000</b>	<b>1,729,616</b>	<b>889,616</b>	
旅費	100,000		100,000	61,325	38,675	
消耗品費	57,000		57,000	53,888	3,112	
会議賄い費	4,000		4,000	3,750	250	
印刷製本費	23,000		23,000	24,667	1,667	
通信費	500,000		500,000	459,691	40,309	
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	980,550	980,550	
図書購入費	1,000		1,000	0	1,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	4,220	1,220	
職員等研修費	40,000		40,000	11,293	28,707	
振込手数料	1,000		1,000	20	980	
リース料	64,336		64,336	58,780	5,556	
手数料	12,900		12,900	122	12,778	
地域協力費	3,750		3,750	7,500	3,750	
その他	30,014		30,014	54,210	24,196	
<b>事業費</b>	<b>1,214,000</b>	<b>0</b>	<b>1,214,000</b>	<b>610,305</b>	<b>603,695</b>	
協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	124,000		124,000	41,376	82,624	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	166,322	15,322	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	171,607	137,393	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>1,778,000</b>	<b>0</b>	<b>1,778,000</b>	<b>768,797</b>	<b>1,009,203</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	879,000	0	879,000	272,509	606,491	
電気料金	187,000		187,000	49,281	137,719	
ガス料金	240,000		240,000	62,067	177,933	
水道料金	452,000		452,000	161,161	290,839	
清掃費	346,000		346,000	332,425	13,575	
修繕費	126,000		126,000	8,232	117,768	予算:指定額
機械警備費	27,000		27,000	22,861	4,139	
設備保全費	400,000	0	400,000	101,854	298,146	
空調衛生設備保守	14,000		14,000	17,050	3,050	
消防設備保守	11,000		11,000	8,504	2,496	
電気設備保守	8,000		8,000	7,874	126	
害虫駆除清掃保守	3,000		3,000	2,638	362	
駐車場設備保全費	364,000		364,000	0	364,000	
その他保全費	0		0	65,788	65,788	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	30,916	30,916	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>29,545,000</b>	<b>0</b>	<b>29,545,000</b>	<b>26,029,126</b>	<b>3,515,874</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>1,432,561</b>	<b>1,432,561</b>	<b>2,229,413</b>	<b>3,661,974</b>	

自主事業費収入	584,000		584,000	70,500	513,500	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	584,000		584,000	379,305	204,695	
自主事業収支	0		0	308,805	308,805	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,600		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市城郷小机地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
収入	介護保険収入	3,711	41,887	98,554	5,750	40,887
	その他	3,875	2,672	8,813	901	2,614
	介護予防ケアマネジメント 費	3,875	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	8,431	901	2,487
	受託収入	0	2,671	0	0	0
	その他	0	1	382	0	127
<b>収入合計(A)</b>		<b>7,586</b>	<b>44,559</b>	<b>107,367</b>	<b>6,651</b>	<b>43,501</b>
支出	人件費	1,372	32,299	77,396	0	30,860
	事務費	222	1,673	6,339	0	2,113
	事業費	0	428	10,383	0	3,457
	管理費	0	482	11,899	0	3,973
	その他	5,908	9,606	10,867	0	3,005
	利用者負担軽減額	0	0	24	0	
	消費税	0	0	0	0	
	介護予防プラン・ケアマネジ メント費委託料	4,408	0	0	0	
	繰入金支出	1,500	9,100	6,924	0	2,700
	その他	0	506	914	0	305
<b>支出合計(B)</b>		<b>7,502</b>	<b>44,488</b>	<b>116,884</b>	<b>0</b>	<b>43,408</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>84</b>	<b>71</b>	<b>33,984</b>	<b>6,651</b>	<b>93</b>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳トレ クラシック	<p>【対象者】高齢者</p> <p>【目的】地域の高齢者の引きこもり予防と、運動不足解消。講師自身が脳梗塞から回復されているため、ぜひ同様な半身麻痺のある方にも積極的に参加を進め、中途障害者にも参加しやすい場づくりをめざす。</p> <p>【実施内容等】講師を招いて、クラシックを聴きながら、ゆるやかに体を動かす。</p>	毎月1回第1月曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもたいそう	<p>【対象者】乳幼児</p> <p>【目的】地域の子育て中のママより「地区センターでの体操講座がなくなってしまったため、この地域で気軽に通える親子のリトミックのような活動があるとよい」という複数意見に基づき試験的に実施する講座。好評を得られたため、今後継続的な活動へ展開していく予定</p> <p>【実施内容等】城郷地区在住の体操講師を招き、母と子がペアになっての全身運動を提供する。横浜市の子育て支援者や、地域の主任児童委員の協力をえながら、より地域性を重要視した交流活動としても位置付ける。</p>	第1四半期2回 第4四半期1回 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウクレレ ワークショップ	<p>【対象者】一般</p> <p>【目的】ウクレレ演奏を通じてボランティア活動につなげる</p> <p>【実施内容等】ウクレレにある程度の経験のある人を対象に曲や、テクニックなど1つのテーマを決めて講習し、ボランティア活動につなげる。</p>	奇数月ごとに1回 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を読む	<p>【対象者】概ね65歳以上高齢者</p> <p>【目的】地域高齢者交流。四肢に障がいがあっても気にせず、生きがいづくり、引きこもり防止や交流を深める活動の一環として。</p> <p>【実施内容等】地域高齢者交流。四肢に障がいがあっても気にせず、生きがいづくり、引きこもり防止や交流を深める活動の一環として。</p>	毎月1回 全11回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ピアノサロン うたごえ	<p>【対象者】高齢者</p> <p>【目的】歌を歌うことで、心身の健康維持増進。地域高齢者の交流。高齢者の若い頃、子供の頃のなつかしい歌を歌ったり聞いたりする事で、回想法療法の効果を期待できる。</p> <p>【実施内容等】ボランティアの方のピアノ演奏をバックに、なつかしい唱歌や流行歌、演歌などを、歌って楽しむ。</p>	毎月第2水曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウクレレA&B	<p>【対象者】一般</p> <p>【目的】自宅に眠っているお土産にもらったウクレレ（等）を使った演奏ボランティア活動を通じて福祉保健活動への参加意欲を高める。またその啓発の一環とする。</p> <p>【実施内容等】当ケアプラザ所長のオリジナル譜面を使って、音だしの基礎から学び、簡単な弾き語りを楽しむ。</p>	A/Bともに 上期下期各10回 毎月隔週同曜日2回 (水・金)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体説明会&交流会	<p>【対象者】地域</p> <p>【目的】ケアプラザの貸館利用登録者及び団体は「福祉保健活動」を推進される皆さんであることを再認識頂き、併せて各団体・各個人通しの顔の見える関係づくりの構築、新たな交流展開も図る。 作年度から貸館のルールが改定されたのでその再周知も行う。団体登録区分も変わったので、登録のし直しの案内も行う。</p> <p>【実施内容等】貸館利用時の清掃の仕方や、改善提案（ご要望）の聴取、職員とご利用者との意見交換を通して、よりよいケアプラザの有効利用に努める。</p>	1月～3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽市場	<p>【対象者】地域</p> <p>【目的】地域（城郷地区）在住のボランティアの再発掘と、活動の場の提供。併せて地域住民（参加者）と若手ボランティアの顔の見える関係づくりの構築</p> <p>【実施内容等】楽器演奏を特技とされるボランティアによる、「地域交流」を目的とした世代を超え、音楽ととおした交流活動の場を提供する。</p>	4～6月1回、7～9月 3回、10～12月2回 1～3月3回 全9回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパと遊ぼう	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】 子育てへの父親参加促進、地域の父親同士の交流を図る。併せて、共催する港北区子育て支援拠点どろっぷを地域住民に知ってもらいスタッフとも顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>【内容】 各回ごとに乳幼児の年齢別の事業を実施。幼児体育指導員を招いて、親子体操、ゲーム、などを楽しむ。</p>	4～6月1回、10～12月1回、1から3月1回 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょいボラ サポーターズ CLUB	<p>【対象者】 城郷中・菅田中・東鴨居中・鴨居中の全中学生</p> <p>【目的】 長期休暇を活用したボランティア及び地域デビューの場の提供。併せて高齢化の著しい新たな担い手の発掘。</p> <p>【実施内容等】 4～5月、4中学校及び同中学校区担当CPのコーディネーターによる各中学校朝礼アナウンス。7月各学校へ出張してボランティア活動前オリエンテーションの実施、オリエンテーション後は順次各CPでの活動に参加を推進する。</p>	<p>実施内容参照のこと</p> <p>各個人により回数は異なる</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そらとぶあおむしお話し会	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 子育て支援事業にこれまで参加くださっていたママボランティアによる子育て支援活動の場の提供として。併せて地域の子育て中のママにとっては、先輩ママとのお話しを通じたお悩み相談など、広く地域交流につなげる。</p> <p>【実施内容等】 OGママボランティア4人組による読み聞かせ、パネルシアターの提供。地域の未就園児のこどもたちの遊びの場の提供とあわせ、ママ同志の交流の場としても位置付ける。 どろっぷの地域担当や、子育て支援者にもボランティア協力をいただきながら実施していく。</p>	4～6月1回、1～3月1回 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウクレレアンサンブル	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 通所や、各イベントで演奏ボランティアができるウクレレのグループ育成</p> <p>【実施内容等】 毎月1回定期的に練習を行う</p>	4～6月1回、7～9月3回、10～12月2回、1～3月3回 全9回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おも城ちゃっ ちゃひろば	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】主に、午前中に特化しがちな子育て支援事業を午後の比較的空いている貸館時間帯での実施の試みとして。貸館の有効活用を目指しながら、ニーズの高い子育て支援の選択肢の幅を広げる。</p> <p>【実施内容等】地域の子育て支援ボランティア活動者で、特定NPOグッドトイ委員会（林野庁支援事業の一環）のおもちゃインストラクター資格を有する住民の協力を得て、木のおもちゃを使つての親子でいっしょに遊ぶ活動を紹介する。</p>	7～9月1回、10～12月1回、1～3月1回 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高校野球オリンピックをケアプラザでテレビ観戦しましょう（クールシェア事業）	<p>【対象者】地域</p> <p>【目的】クールシェアの一環としての事業</p> <p>【実施内容等】真夏の暑い盛り、ケアプラザの貸館の空部屋を利用して、地域の方に涼みながらテレビで高校野球観戦。水分補給のための麦茶なども用意</p>	7～9月 14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
城郷小机地区料理教室	<p>【対象者】小4～中3までの小中学生</p> <p>【目的】地場野菜への関心を深め、生徒自身の生活力を身に着ける。また3つの小中学校間の生徒同士の交流を栄養教諭と連携して実施提供する。</p> <p>【実施内容等】地域の農家で野菜ソムリエの方をお招きし、小机野菜についての座学及び、その後の調理実習を通して地域農家と地域野菜への関心を深め、協力して調理する楽しさを併せて促進する。</p>	12月3日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理ボランティア講座	<p>【対象者】一般</p> <p>【目的】高齢化の進む既存ボランティアグループ活動を補完する新規ボランティアグループの立ち上げ及び、既存活動での新規協力者の育成を目指す。</p> <p>【実施内容等】地域の栄養士の指導をもとに、衛生から安全調理の実際までを座学日と調理実習日に分けて楽しく学習する。</p>	10月より、第1水曜日（メニューづくり）第3水曜日（調理実習） 全12回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉フェスタ	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 地域ケアプラザが高齢者支援のみならず、様々な事業を行なって地域活動を支援していることを広く知っていただくために年一回行なっているイベント</p> <p>【実施内容等】 地域ケアプラザが高齢者支援のみならず、様々な事業を行なって地域活動を支援していることを広く知っていただくために年一回行なっているイベント</p>	10～12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかちゃんふうせんお話し会	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】 地域の読み聞かせボランティアグループによる乳幼児と保護者向けの絵本の読み聞かせ。地域の母親同士が知りあうきっかけにも</p> <p>【実施内容等】 目的に同じ</p>	10～12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝の集い	<p>【対象者】 当ケアプラザボランティア登録後、ボランティア活動実践者</p> <p>【目的】 当ケアプラザ事業やデイサービス等で日頃からご活動くださる皆さんへの年に一度のスタッフからの感謝を伝える機会及び参加者同士の親睦を深めていただく。</p> <p>【実施内容等】 当ケアプラザ職員による余興、軽食のご提供、会食者との談話など。</p>	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とりやまの郷 (単発2/21のみ 共催)	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 定期的な通いの場として地域に定着させ、将来的には鳥山地区に拠点となる常設の居場所を創設する。介護予防・生活支援体制整備事業へ発展させる。</p> <p>【実施内容等】 週替わりでプログラムを実施する。 第1週 手作りサロン、第2週 認知症予防プログラム(回想法)、第3週 多世代交流プログラム、第4週 体操プログラム</p>	10～12月 8回、1～3月 12回 全20回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小机地区こどもの居場所 (3月～たまりBAこづくえ)	<p>【対象者】 城郷地区在住小学生</p> <p>【目的】 当該エリア内小学生の居場所づくりの必要性の事例報告と併せ、同事業開催へ向けた試運用の実施</p> <p>【実施内容】 小机小学校区に設置されている当ケアプラザを活用し小机小学校のクラス担任に参加申し込み協力を得て、当ケアプラザ 平成29年度より育成中の「調理ボランティア」協力によるお菓子作りを実施。当日は子ども達に直接ヒアリングも実施し平成30年度の実働に向けた考察とする。</p>	2月講演会、3月プレ居場所事業実施 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コーヒーサロン わいわい城郷	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 新たな担い手コーヒーボランティアの活動の場、新たな社会資源（住民の集いの場）地域の交流を図る。ボランティアのスキルアップを図り、活動に対しての自信と意欲向上、コーヒーサロンの活性化を図る。 地域へコーヒーボランティアの活動を周知し、地域ので活動の場を広げていく。</p> <p>【実施内容等】 『コーヒーで地域デビュー』の発展的活動とし、月1回のコーヒーサロンを開催。 平日活動が難しかったボランティアを中心とし、月1回（原則第2日曜日）の学習会を開催。 地域からの要請による出張でのコーヒーボランティア活動。</p>	毎月第1水曜日、及び地域への出張活動 全19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
城郷探険	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 月1回の連続講座。様々な視点から地域の魅力を伝えていく。グループワークや交流の場を設ける。参加者アンケートを基に、ニーズ把握や関心度を調査し、新たな地域活動プログラムを開発していく。</p> <p>【実施内容等】 月1回の連続講座。様々な視点から地域の魅力を伝えていく。グループワークや交流の場を設ける。参加者アンケートを基に、ニーズ把握や関心度を調査し、新たな地域活動プログラムを開発していく。</p>	毎月1回（第3金または第3土） 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とりやまの郷	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 定期的な通いの場として地域に定着させ、将来的には鳥山地区に拠点となる常設の居場所を創設する。介護予防・生活支援体制整備事業へ発展させる。</p> <p>【実施内容等】 週替わりでプログラムを実施する。 第1週 手作りサロン、第2週 認知症予防プログラム（回想法）、第3週 多世代交流プログラム、第4週 体操プログラム</p>	H29年11月～3月 月4回（水曜日） 全20回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたのチカラを地域で活かそう（生活支援支援サービス担い手養成講座）	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 生活支援サービスの必要性を周知し、新たな人材発掘の機会とする。また、現在活動している支援団体のモチベーションアップを図る。</p> <p>【実施内容等】 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉サービスを取り巻く社会状況</li> <li>・高齢者・認知症について</li> <li>・生活支援サービスの取り組み、活動紹介</li> </ul> <p>ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスに役立つ実践法の紹介</li> <li>・活動の進めかた</li> </ul>	1月30日、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
向井先生講演会	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 地域の住民や介護従事者などに向けて地域ケアプラザの協力医の医療講演会を開催し病気の理解を深める</p> <p>【実施内容等】 目的に同じ</p>	7月5日・10月18日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA支援者交流会	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 今年度介護予防普及啓発事業として実施した『スリーA支援者養成講座』終了後、リーダーとして活動につなげられるよう参加者同士の交流を図る。</p> <p>【実施内容等】 スリーA支援者養成講座の振り返りと、今後学習会として活動していく事についての意見交換を行う。</p>	12月5日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員研修会	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 今年度は民生・児童委員の交代があり、諸制度等の研修の希望を受け、年間を通して実施する</p> <p>【実施内容等】 民児協会議の事前30分間でミニ講座を開催。</p> <p>4月：ケアプラザについて 5月：介護保険制度について 7月：生活保護制度について 8月：地域の施設見学 9月：高齢支援課・子育て支援の役割について 11月：ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」佐宇井新事業 12月：地域のボランティア紹介 2月：虐待予防・成年後見制度・消費者保護について 3月：ケアマネジャーとの懇親会</p>	4月17日、5月19日 7月21日、8月21日 9月22日、12月18日 2月19日、3月19日 8回と11月：見守り訪問

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心のサポート 相談会	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 支援に結びつきにくい精神障がい者への相談・支援を地域でできる機会を作る。</p> <p>【実施内容等】 年間を通して第2月曜日に相談時間を設け、当事者、家族、支援者からの相談を受ける無料相談会を実施する。</p>	4月10日・6月12日・7月10日・10月9日・11月13日・12月11日・2月12日・3月12日 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者詐欺被害 防止講座	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 消費者被害・詐欺疑外防止について、地域の高齢者に普及啓発を行なう。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザで行われている高齢者のサロンでミニ講話を開催し、普及啓発を行なう。区内での被害について説明し、注意喚起を行なう。</p>	6月9日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
城郷カフェサロン	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 わいわい城郷の開催に合わせ、コーヒーを飲みながら過ごして頂ける機会を設け、今後のカフェ活動につなげて行く。カフェ室に消費者被害防止のチラシや認知症についての理解のパンフレットを置き、広報の場とする。</p> <p>【実施内容等】 地域のボランティアグループによる朗読会、ケアプラザ所長によるウクレレ演奏会 テーブル横に、ロコモ説明書、認知症についての説明書やドリルを置き、参考にしていただく。</p>	5月10日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 ～映画会～	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 地域への認知症理解の普及啓発活動 「映画上映会」スイートホームすーと2</p> <p>【実施内容等】 認知症の映画を通して地域に、認知症患者への理解と地域での見守りにつなげて行く。</p>	10月27日 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士相談会	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 遺言・相続・成年後見についての無料相談会を行ない、相談の機会を作る。</p> <p>【実施内容等】 遺言・相続・成年後見についての無料相談会を行ない、相談の機会を作る。</p>	11月18日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
詐欺に合わないために	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 消費者被害・詐欺疑外防止について、地域の高齢者に普及啓発を行なう。</p> <p>【実施内容等】 港北警察生活安全課から講師を招き、詐欺被害の実態と予防方法について講演していただき、詐欺防止に約立てて頂く。</p>	9月26日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症についての理解教室	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 地域への認知症理解の普及啓発活動</p> <p>【実施内容等】 認知症看護認定看護師を講師に招き、認知症について理解していただく。</p>	9月29日1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活セミナー	<p>【対象者】 地域</p> <p>【目的】 人生の最終面で必要となる情報を知って頂き、必要に備えて頂く。より多くの方に参加をしていただき、情報発信できる。</p> <p>【実施内容等】 最期まで自分の人生を自らの意思で生きていくための情報提供を行なう。(エンディングノートの活用) 最近のsy回事情等を知り、自らの人生に役立てていく。</p>	H30年1月30日 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医師とケアマネの意見交換会	<p>【対象者】 港北区南部で活動している介護支援専門員</p> <p>【目的】 港北区の訪問診療を中心に行なっている医療機関（10機関）と顔の見える関係を構築し、日々のケアマネジメント支援に活かしていくこと。</p> <p>【実施内容等】 各診療所、クリニックの概要や特徴を伺い理解をしたあと、3つのグループに分かれて訪問診療の調整や情報共有について意見交換を行った。</p>	10月27日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待防止研修	<p>【対象者】 横浜市内の介護支援専門員</p> <p>【目的】 日ごろのケアマネジャーの仕事から、虐待防止についての意識を持っていただき、虐待予防に取り組んで頂き、また発見した際は迅速に対応頂く。</p> <p>【実施内容等】 モニタリングから感じ取る高齢者虐待の兆候、虐待連絡から解決に向けてのケアマネジャーの仕事、高齢者虐待と施設の役割について学ぶ。</p>	7月31日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数







横浜市城郷小机地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
終活セミナー	高齢者		地活					
	17名		包括					
	無料		介護					
			生活					
医師とケアマネの 意見交換会	ケアネージャー	3449	地活	3449				3449
	39名		包括					
	無料		介護					
			生活					
虐待防止研修	ケアマネジャー	297	地活	297				297
	18名		包括					
	無料		介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					